

平成30年（2018）1月 入域観光客数概況

1月の観光客数は、70万4,300人
対前年（H29）同月比 +5万1,300人、+7.9%
～1月の過去最高更新、各月の過去最高を51ヶ月連続更新～

入域状況

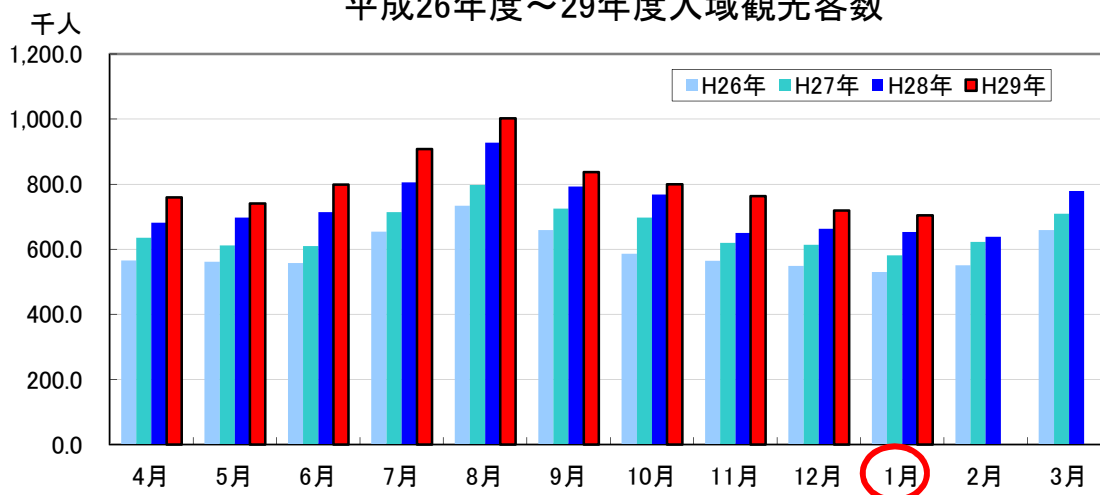
入域観光客数（平成28年度との比較） ※外国客については、乗務員等を含む

区分	H29年度	H28年度	増減数	増減率	構成比
国内客	509,900 人	505,800 人	+ 4,100人	+ 0.8%	72.4%
外国客	194,400 人	147,200 人	+ 47,200人	+ 32.1%	27.6%
合計	704,300 人	653,000 人	+ 51,300人	+ 7.9%	100.0%

【参考】入域観光客数（平成28年度との比較） ※外国客については、乗務員等を除く

区分	H29年度	H28年度	増減数	増減率	構成比
国内客	509,900 人	505,800 人	+ 4,100人	+ 0.8%	74.9%
外国客	171,100 人	138,900 人	+ 32,200人	+ 23.2%	25.1%
合計	681,000 人	644,700 人	+ 36,300人	+ 5.6%	100.0%

平成26年度～29年度入域観光客数



国内客 入域状況

1月は、航空会社の先行割引航空券などの実績が良好であったほか、旅行会社の販売実績が前年同月並みにあったこと等により、前年を上回った。

2月は、スポーツキャンプ見学や桜祭りなど各種イベントが多く、個人旅行を中心に予約状況が良好なことや、スターフライヤーの北九州路線再開により新規需要が期待できること等から、好調に推移する見込み。

外国客 入域状況

1月は、年末年始の旅行需要の高まりや、宮古・石垣へのチャーター便の運航など航空路線の拡充、クルーズ船の寄港回数が前年同月比で増加（H29.1月9回からH30.1月23回）したこと等から前年を上回った。

2月は、春節時期による旅行需要の高まりや、クルーズ船の寄港回数も増加する予定（H29.2月12回からH30.2月20回）であること等から、好調に推移する見込み。

国内客 地域別入域状況

区分	H29年度	H28年度	増減数	増減率	構成比
東京方面	254,300 人	250,500 人	+ 3,800人	+ 1.5%	49.9%
関西方面	97,400 人	100,300 人	△ 2,900人	△ 2.9%	19.1%
福岡方面	65,400 人	66,100 人	△ 700人	△ 1.1%	12.8%
名古屋	41,600 人	41,600 人	0人	0.0%	8.2%
その他	51,200 人	47,300 人	+ 3,900人	+ 8.2%	10.0%
合計	509,900 人	505,800 人	+ 4,100人	+ 0.8%	100.0%

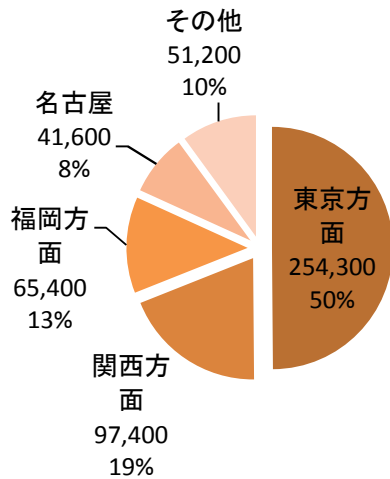
※国内海路客4,100人を含む(鹿児島2,400人、東京1,600人、その他100人)

外国客 国籍別入域状況

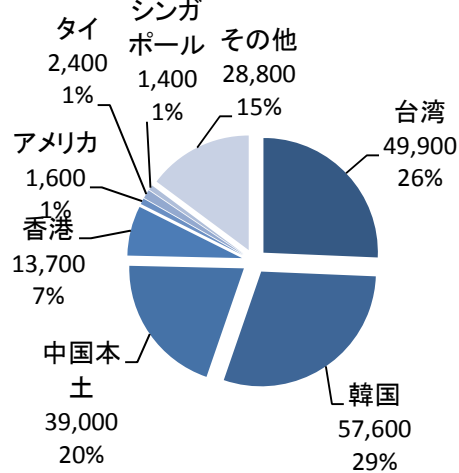
増減数及び増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	H29年度	H29年度	H28年度	増減数	増減率	構成比
	(乗務員等含む)	(乗務員等除く)	(乗務員等含む)			
台湾	49,900 人	49,900 人	39,300 人	+ 10,600人	+27.0%	25.7%
韓国	57,600 人	57,600 人	49,500 人	+ 8,100人	+16.4%	29.6%
中国本土	39,000 人	39,000 人	29,700 人	+ 9,300人	+31.3%	20.1%
香港	13,700 人	13,700 人	15,100 人	△ 1,400人	△9.3%	7.0%
アメリカ	1,600 人	1,600 人	1,300 人	+ 300人	+23.1%	0.8%
タイ	2,400 人	2,400 人	200 人	+ 2,200人	+1100.0%	1.2%
シンガポール	1,400 人	1,400 人	300 人	+ 1,100人	+366.7%	0.7%
その他	28,800 人	5,500 人	11,800 人	+ 17,000人	+144.1%	14.8%
合計	194,400 人	171,100 人	147,200 人	+ 47,200人	+32.1%	100.0%

国内客の地域構成比



外国客の国籍構成比



外国客 空路・海路の国籍別入域状況

増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	空路				海路			
	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比
台湾	35,100 人	35,100 人	+9.7%	27.0%	14,800 人	14,800 人	+102.7%	23.0%
韓国	57,400 人	57,400 人	+16.0%	44.2%	200 人	200 人	皆増	0.3%
中国本土	17,300 人	17,300 人	△28.5%	13.3%	21,700 人	21,700 人	+294.5%	33.7%
香港	12,200 人	12,200 人	△17.6%	9.4%	1,500 人	1,500 人	+400.0%	2.3%
アメリカ	1,500 人	1,500 人	+15.4%	1.2%	100 人	100 人	皆増	0.2%
タイ	2,200 人	2,200 人	+1000.0%	1.7%	200 人	200 人	皆増	0.3%
シンガポール	1,400 人	1,400 人	+366.7%	1.1%	0 人	0 人	-	0.0%
その他	2,900 人	2,900 人	△14.7%	2.2%	25,900 人	2,600 人	+208.3%	40.2%
合計	130,000 人	130,000 人	+3.4%	100.0%	64,400 人	41,100 人	+199.5%	100.0%

各方面ごとの概況と見通し

東京

1月は、先行割引航空券の取扱いが対前年比で大幅に増加したことや、旅行会社の販売実績についても良好であったこと等から、前年を上回った。

2月は、スポーツキャンプ見学や桜祭りなど各種イベントが多く、個人旅行を中心に予約状況が良好なことや、各航空会社による航空路線の拡充も見られること等から、好調に推移する見込み。

大阪

1月は、離島直行便の実績が高かったものの、旅行会社の販売実績が前年同月に届かなかったこと等から、前年を下回った。

2月は、連休絡みで個人旅行需要が高いことや、学生向け旅行商品の予約状況が対前年で大幅に増加している傾向が見られること等から、堅調に推移する見込み。

福岡

1月は、航空会社の先行割引航空券などの実績は良好であったものの、旅行会社の販売実績が前年同月に届かなかったこと等から、前年を下回った。

2月は、スターフライヤーの北九州路線再開により新規需要が期待できることや、旅行会社の予約状況について前年並みに推移していること等から、好調に推移する見込み。

名古屋

1月は、航空会社の取扱い実績や、旅行会社の販売実績が良好であったこと等から、前年並であった。

2月は、航空会社や旅行会社の予約状況について前年同月並に推移していること等から、好調に推移する見込み。

台湾

1月は、前年同月に比べて航空路線の拡充があったことや、クルーズ船の寄港回数が増加したこと等から、前年を上回った。

2月は、春節時期にチャーター便の運航が予定されていることや、クルーズ船の寄港回数について増加する予定であること等から、好調に推移する見込み。

韓国

1月は、冬休み期間における旅行需要の増加や、宮古・石垣へのチャーター便の運航など航空路線の拡充があったこと等から、前年を上回った。

2月は、韓国プロ野球キャンプ見学の需要が見込めることや、前年同月に比べて航空路線の拡充があること等から、好調に推移する見込み。

中国本土・北京

1月は、元旦休暇にかけての旅行需要の高まりや、冬休み期間に家族旅行の取扱いが多く見られたこと等から、前年を上回った。

2月は、春節時期による旅行需要の高まりや、各旅行会社による花見にあわせた旅行商品の販売強化の動きがあること等から、好調に推移する見込み。

中国本土・上海

1月は、冬休み期間における家族旅行取扱いが多く見られたことや、前年同月と比べてクルーズ船の寄港回数が増加したこと等から、前年を上回った。

2月は、春節時期の旅行需要の高まりに加え、引き続きクルーズ船の寄港回数が増加する予定であること等から、好調に推移する見込み。

香港

1月は、クルーズ船の寄港があり、航空路線数が前年同月並になったことものの、他方面との競合で航空搭乗率が鈍化したこと等から、前年を下回った。

2月は、春節時期の旅行需要の高まりに加え、冬場のホエールウォッチングや桜祭りなどの旅行商品に人気があること等から、好調に推移する見込み。